



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

276◎通信

ガバナー月信
MAY 1995

NO. 12

1994～1995年度、国際ロータリー会長のテーマ

BE A FRIEND

友達に なろう。

R.I.会長/ビル H. ハントレー

緑のお友だちにも楽しいグリーンプレゼントを



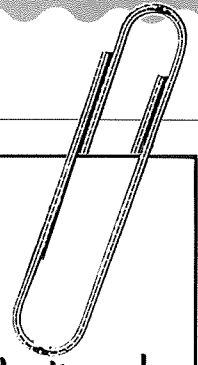
1994～1995年国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

事務所／〒451 名古屋市西区樋の口町3-19

ホテルナゴヤキャッスル 427号室

TEL. (052)521-2121 FAX. (052)523-1998



「私のI.M.は 良き友達に会える楽しみな会でした。」

1994～'95年度国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

1994～'95年度のロータリー年度もあと2か月で終わろうとしています。今年度は、環境保全活動、青少年奉仕活動に重点をおいて奉仕をいたしました。私は、各分区代理のご協力のもとに、まずここまでガバナーという任務を無事に遂行する事ができたと思っています。

さて、INTERCITY MEETINGは、各分区代理がご主催されます分区内の大きな行事です。かつては新入会員の教育を主体としていましたが、現在は「親睦」と「ロータリー論議」を主体としています。本年度のINTERCITY MEETINGは、2月11日(土)の東三河分区を皮切りといたしまして、4月2日(日)の尾張第一分区を最後に無事8分区の幕を閉じることができました。

今年度は1月17日の阪神大震災の後であったため、親睦会は今までより控えめにされ、その分を義援金として送られたと聞いています。誠にロータリーらしい考えであります。特に私自身は、ガバナー公式訪問の折にいろいろ討論を重ねた懐かしいお顔に再びお目にかかることができ、ガバナーとして「INTERCITY MEETINGは、古き良き友達に会う」と、いつも大いなる楽しみの会でありました。各分区のテーマ、講師は下記の表の如くであります。ご覧下さい。

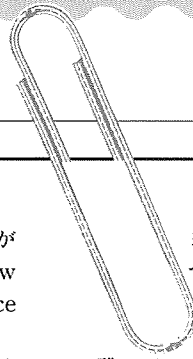
ここで、8分区すべて終了しましたので私なりの感想を述べさせていただきます。

1) 東三河分区は、梅村 東分区代理のご主催の下、豊橋ゴールドンロータリークラブがホストを務められました。「ロータリーの初心を尋ねて」というテーマで佐古亮尊氏のロータリーの原点を求めるお話を拝聴いたしました。佐古亮尊氏は次年度の第2740地区のガバナーとなられる方です。また分区のロータリアン並びにご家族の絵画展をお催しになり、和気あいあいたる会でありました。

2) 東尾張分区は、平林米司分区代理のご主催の下、犬山ロータリークラブがホストを務められました。名鉄犬山ホテルという立派な会場は、本曾川と犬山城という歴史的環境の場所にありました。そこで実に楽しいフォーラムを持つことができました。松山邦夫犬山市長の環境問題に対するご講演を拝聴いたしまして甚だ考えさせられるものがありました。

3) 西尾張分区は、林 恵分区代理のご主催の下、稲沢ロータリークラブがホストを務められました。講師は私の尊敬する森 三郎第2570地区バストガバナーでした。『ロータリアンにはロータリー観がそれぞれ異なります。ロータリーは「Fellow Ship」という切り株に「Service Above Self」という接ぎ木を

分 区 名	テ ー マ	講 師
東 三 河	ロータリーの初心を尋ねて	佐古亮尊氏 (R.I.D-2740 ガバナーノミニー)
東 尾 張	地方自治体と環境問題	松山邦夫氏 (犬山市長)
西 尾 張	ロータリーを語る	森 三郎氏 (R.I.D-2570バストガバナー)
西三河第一	友 達 に な ろ う	弓場通義氏 (元につぼん丸船長)
名古屋第一	森 の 文 明 と 日 本	梅原 猛氏 (国際日本文化研究センター所長)
西三河第二	地 域 の 文 化 と 生 活	田畑彦右衛門氏 (三重県総合文化センター総長)
名古屋第二	赤十字の活動と友愛の精神	近衛忠輝氏 (日本赤十字社副社長)
尾 張 第 一	21 世 紀 を 迎 え る 知 多	大沢 勝氏 (日本福祉大学学長)



し、切り株からも新たに「Fellow Ship」という芽が出て、90年後の今日、右から眺められれば「Fellow Ship」が生い茂り、左から見れば美しい「Service Above Self」という2つの大きな幹を見せており、堂々たる樹になった。』と説明されました。ロータリーの解釈、考えが私と全く同じであり、私自身、とても勉強となり大変意義のある会でした。

4)西三河第一分区は、加藤喜作分区代理のご主催の下、豊田ロータリークラブがホストを務められました。講師は、戦後敗戦にうらぶれた日本の若者をつぽん丸に乗せてそれぞれの国を訪問し、青年に希望を与えた元につぽん丸の船長の弓場通義氏であり、またブラジル丸、アルゼンチナ丸という日本の代表的な客船の船長をされた方でした。『大洋の真真中で小さな船の中の社会、そこにおける人間の真心や思いやりの心がいかに貴重なものであるか。』ということをお話いただきました。心の教育、愛の教育こそ民族を大きく育てるという実感を私どもに植え付けて下さいました。

5)西三河第二分区は、太田昭夫分区代理のご主催の下、安城ロータリークラブがホストを務められました。ここでは「地域の文化と生活」というテーマの下、田畑彦右衛門氏がお話になられました。『古田織部という茶人を接待した武将が、大事なお客様なので鶴のお吸い物を用意された、ということが評判になり、多くの人々がそれを囲んで眺めていました。しかし、古田織部にご馳走したご献立は、単に落雁1つと薄茶でありました。その行為に多くの人達は接待した武将を「どうして鶴のお吸い物を出さなかったのか?」となじりました。しかし、その武将は「古田織部はその日に4回茶席に呼ばれていた。もし、自分が古田織部であるとしたならば、最初の茶席で鶴のお吸い物を食べたなら後3回の茶席は味気ない。その客人の心を思ってそのようにした。』と言われたそうです。当時でも、鶴のお吸い物を作るには莫大な金子が必要であったと思います。しかし、客人の心を思った武将の心を思う時、これ以上の接待、ご馳走はないことだと私は感じ入ったのです。素晴らしいお話でした。

6)名古屋第一分区は、朽木義一分区代理のご主催の下、名古屋南ロータリークラブがホストを務められました。講演の梅原 猛先生は、第八高等学校のご出身で私の3年先輩の方であり、名古屋が生んだ現在の偉大なる哲学者です。講演内容は環境保全でした。『麦、豆を主体として農業を行っていたアラブ、

ヨーロッパ、アメリカは現在では砂漠化しつつあります。水稻農業を行っていた中国の一部並びに日本においては、広葉樹が残されることとなりました。現在世界に残っている樹林は、わずかに30数%、日本においては68%広葉樹林が残っています。』というお話を拝聴し、歴史と我々の環境との大いなる関係を知ることができて印象に残りました。「祈り」、「心」を大切にされた昔の農業が、現在の私たちの環境を残していたに感謝いたします。

7)名古屋第二分区は、大谷和雄分区代理のご主催の下、名古屋千種ロータリークラブがホストを務められました。講師は日本赤十字社副社長、近衛氏であり、赤十字の背負った大きな苦しみと今後のご抱負を述べられました。近衛氏は細川元首相の弟様で、近衛家にご養子に入ったのです。さすが名門だけあり、学習院大学の政経学部政治学科をご卒業後、英国ではロンドン大学ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスジェネラル・コースをご卒業された立派な方です。『ロータリーと赤十字とは相通じる思いやりと奉仕の心がある。』という内容で非常に良い勉強会でありました。

8)尾張第一分区清水良三分区代理のご主催の下、半田南ロータリークラブがホストを務められました。三方を海で囲まれた第二工業地で、中枢には半田という都市があり、テリトリーとしては素晴らしい環境の地域です。講師は日本福祉大学学長の大沢 勝先生で、ご講演内容は、『21世紀を目の前にして、中部国際空港という大プロジェクトがあり、今後10年間で一番激しく環境、経済、生活とすべてに変化をきたす地区であると思います。また、それに対処するロータリアンの心構えは非常に大切なものである。』という内容でした。

総じて各INTERCITY MEETINGを見ますと、分区代理の方々がテーマをしっかり考え、地球環境の保全、青少年の育成というところに重点をおき、討論されました。

懇親会も比較的質素であり、ロータリーらしい雰囲気醸し出したことは大成功であったと思います。

分区代理の皆様、並びにホストされました各クラブの実行委員長をはじめ会員各位に心から御礼申し上げます。INTERCITY MEETINGの締め言葉といたします。

「親睦を尋ね、奉仕を探る——」

INTERCITY MEETING

西三河第二分区

1995年3月25日(土)

碧海信用金庫本店

ホスト：安城ロータリークラブ

西三河第二分区代理 **太田昭夫**

プログラム(敬称略)

第1部 式典		
実行委員長挨拶	I.M.実行委員長	稲葉裕治
歓迎のことば	ホストクラブ会長	小川博行
特別出席者紹介	分 区 代 理	太田昭夫
参加クラブ紹介	ホストクラブ幹事	細井英治
ガバナー挨拶	ガ バ ナ ー	蜂谷弘道
分区代理挨拶	分 区 代 理	太田昭夫

第2部 ロータリーフォーラム	
講 演	「地域の文化と生活」
	ジャーナリスト
	(三重県総合文化センター総長)
	田畑 彦右衛門氏

フォーラム 「親睦と奉仕」	
リーダー 分区代理	太田昭夫
パネラー パストガバナー	田中 徹
パネラー パストガバナー	宮地信尚
次期西三河第二分区分区代理挨拶	
碧南ロータリークラブ	石川八郎右衛門
次期ホストクラブ会長挨拶	
碧南ロータリークラブ	森田英治

第3部 懇親会	
開宴のことば	I.M.副実行委員長 川澄 博
杯	ガバナーノミニー 石川和昌
閉会のことば	I.M.副実行委員長 鈴木凱男

春雨の煙るなか、蜂谷ガバナーをはじめ、特別出席者、分区わかれして2年目の8ロータリークラブの会員、田原RCのお客様を含め総数244名をお迎えして、楽しくI.M.を開催することができました。

今回のI.M.は幾多の幸運に恵まれました。昨年分区わかれして参加人員が適当であったこと。式典、講演、フォーラム会場が十分な機能と風格を備えていたこと。円形内庭を備えた11階展望懇親会場は、運営のテーマ「さわやかなI.M.」にふさわしく疲れを忘れさせ、落ち着きとゆとりを与えてくれました。

講演は田畑彦右衛門氏が、そのお人柄通りの温かさで、地域の環境、文化、くらしにか

かわる他人への思いやりを、硬いものを噛んで含めるようにお話し頂き感動を呼びました。

フォーラムでは、ロータリーの発生の原点となったフェローシップと、拡大の原動力になった奉仕哲学を、その思想、歴史、今後について田中、宮地両パストガバナーよりそれぞれお話し頂き、とかく曖昧になりがちな、「ロータリーの哲学」に迫ることができました。

今年度R.I.会長のテーマ、「BE A FRIEND」を心に刻み、ガバナーが限りなく追求してみえる「Fellow Ship」を体験し、ロータリーを「Enjoy」できたI.M.であったと思います。

関係各位に御礼申し上げる次第です。



INTERCITY MEETING

名古屋第二分区代理 **大谷和雄**



蜂谷ガバナーの「簡素に、ロータリアンはすべてに範たれ」の意見に基づき、従来のI.M.とは一味違ったものになり、実りある会であったと思います。分区内会員各位のご協力に心から感謝申し上げます。

[illegible]

地球環境の保全とエネルギー問題に挑む

INTERCITY
MEETING

尾張第一分区

1995年4月2日(日)
半田市福祉文化会館

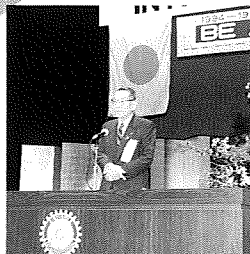
ホスト：半田南ロータリークラブ

尾張第一分区代理 **清水良三**

4月2日は桜の花が三分咲きで、好天に恵まれ、半田南ロータリークラブをホストとして、I.M.を開催致しましたところ、蜂谷ガバナーはじめ22名の特別出席者及び分区内6クラブから361名の会員合わせて383名をお迎えして、盛大にI.M.を行うことが出来ました。

日本福祉大学学長大沢 勝先生の「21世紀を迎える 知多」と題する講演では、中部新国際空港の開港を迎える知多地域の理想的な構想について幾多の重要な点を御指摘賜り、誠に深い感銘を受けました。今後地域のロータリアンとして、素晴らしい環境を世界にアピール出来る様な臨空都市作りに貢献しましょう。

「地球環境の保全を考えよう」と題するフォーラムでは、地区環境保全委員長の片山君と、分区内6クラブを代表して知多クラブの平松君、半田クラブの加藤君からそれぞれの立場で意見を発表されました。アドバイザーの地区社会奉仕委員会のカウンセラー神戸パストガバナーと、日本福祉大学学長の太沢 勝先生から適切な御助言を頂き、これからの環境保全に対する取り組み方について



で大変有意義なフォーラムでした。

懇親会では環境にちなんで、入口で花の種が配られ、会場内は緑の観葉植物で清々しい雰囲気を作り、音楽を聞きながらの歓談で「友達になろう」を実践して頂けたと思います。

諸経費を節約して拠出して頂いた、阪神大震災の義援金50万円は、中日新聞社半田支局を通じて贈りました。

I.M.の開催にあたって、ご支援ご協力を頂いた皆様に感謝すると共に、ホストクラブの御苦労に対し心から御礼申し上げます。

プログラム(敬称略)

式典	
開会の言葉	I.M.実行委員長 榊原孝克
歓迎の言葉	ホストクラブ会長 杉山正彦
特別出席者紹介	尾張第一分区代理 清水良三
参加クラブの紹介	I.M.実行副委員長 竹内利全
ガバナー挨拶	第2760地区ガバナー 蜂谷弘道
挨拶	尾張第一分区代理 清水良三

講演	
講演 テーマ「21世紀を迎える 知多」	
講師 日本福祉大学学長 大沢 勝先生	

フォーラム	
フォーラムリーダー	清水良三
尾張第一分区代理	
「地球環境の保全を考えよう」	
パネラー	片山主水
	加藤凱也
	平松典保
	神戸政治
アドバイザー	大沢 勝
	日本福祉大学学長
	パストガバナー
	田中 徹

ガバナーノミニ紹介	第2760地区ガバナー
ガバナーノミニ	蜂谷弘道
ガバナーノミニ	石川和昌
次期分区分代理紹介	松本 宏
次期分区分代理挨拶	清水良三
次期ホストクラブ紹介	市田弘治
次期ホストクラブ会長挨拶	清水良三
常務ロータリークラブ会長	天木重親
第2760地区ガバナー	蜂谷弘道
I.M.実行副委員長	澤田博光

特別出席者名簿	
ガバナー	蜂谷弘道(名古屋和合)
ガバナーノミニ	石川和昌(豊 橋)
パストガバナー	奥谷博俊(尾 張 旭)
〃	福田浩三(名古屋空港)
〃	田中 徹(半 田)
〃	盛田和昭(名古屋)
〃	加納 泉(名古屋中)
〃	神戸政治(あ ま)
〃	宮地信尚(豊 川)

ガバナーノミニ	松本 宏(半 田)
(95~97年度就任ガバナー)	
地区幹事	森 武保(名古屋和合)
地区副幹事	尾関和成(名古屋和合)
尾張第一分区代理	清水良三(半 田 南)
名古屋第一分区代理	朽木義一(名古屋南)
名古屋第二分区代理	大谷和雄(名古屋千種)
東尾張分区分代理	平林米司(大 山)
西尾張分区分代理	林 恵(稲 沢)
東三河分区分代理	梅村 東(豊橋ゴールデン)
西三河第一分区代理	加藤喜作(豊 田)
西三河第二分区代理	太田昭夫(安 城)
次期尾張第一分区代理	市田弘治(常 滑)
次期ホストクラブ会長	天木重親(常 滑)
地区環境保全委員長	片山主水(名古屋東南)
(パネラー)	

(敬 称 略)

第2760地区ニュース・その他

地区職業奉仕委員会研修会

- 平成7年3月18日(土)
- ホテルキャスルプラザ

地区職業奉仕委員会
委員長 岡本纓二

地区内各クラブ職業奉仕委員会関係者および新入会員の方、130余名の参加をえて、盛大に開催致しました。蜂谷ガバナーと地区職業奉仕委員会カウンセラー田中パストガバナーは都合によりご欠席でしたが、すばらしい御挨拶をいただきました。森副委員長は、「地区委員会として、職業奉仕の事例などを発表して頂くような会をもって皆さんの活動の参考に、ということも考えましたが、現在R.I.が一番求めているボランティア活動についての、身近な活動の実践を聞いて、我々にも実践可能な事があることを知って頂く研修会といたしました」と述べられました。

職業を自分のためのみならず、世のため人のためになるようにしたい、という願いは誰しも考えていることです。ただ、それが本当にできるかどうかが問題でしょう。本日の研修会では、ロータリアンとして幅広くこの問題を再確認しようというのが、大きな目的であったと思っています。

「ロータリーでいう職業奉仕とは」について、地区職業奉仕委員会、小出委員にお話しして頂きました。職業奉仕は、ロータリーの枠内で自分流のなにかを探し、人に迷惑を掛けずに身近なところから実行するとなると、さほど難しいとは思えません。田中P.G.のご挨拶のなかに、「貴君は実践派でしょうか、理論派でしょうか」と問いかけ、「難しい難しいと理論が空転しては何もできません。我々の周囲には『職業奉仕の四つの反省(テスト)』をふまえ自分と自分の職業を律し、身近にやることがたくさんあるはずです」とありました。

「ロータリーでいうボランティアとは」について、地区職業奉仕委員会、川井委員にお話し頂きました。R.I.の考え、現状、最新の情報、および川井委員が集められた地区内のボランティア活動のほんの一部について述べられました。蜂谷G.

プログラム

開会 司会 鶴岡久夫(名古屋名東RC)
開会の挨拶 地区職業奉仕委員会
蜂谷G挨拶(代読)
副委員長 森 澄(豊橋RC)
田中PG挨拶(代読)
ロータリーで言う職業奉仕の概要
地区職業奉仕委員会
委員 小出和己(一色RC)

ロータリーで言うボランティアについて

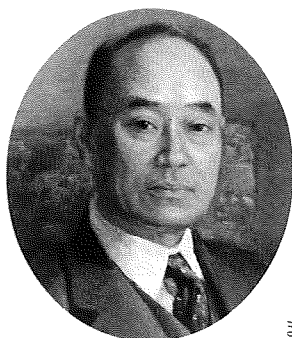
地区職業奉仕委員会
委員 川井健司(名古屋守山RC)
ボランティア活動の為に「音声訳クリニック」
愛知県図書館朗読協力会員
元名古屋テレビアナウンサー 堀尾純子さん
質疑応答
総括 地区職業奉仕委員会
委員長 岡本纓二(名古屋名東RC)
閉会挨拶 地区職業奉仕委員会
委員 山本謙彦(津島RC)

はご挨拶のなかで「ボランティアと一口に言いますが、人のためにと行って行った善意が、結果が悪ければ訴訟の対象となる時代です。私たちは焦らず、怠らず、じっくりと職業の善意をどのように表わすか討論していかねばならないと思います」と言われました。

外部講師として、元名古屋テレビアナウンサー・愛知県図書館朗読協力会員の堀尾純子さんをお招きし、視覚障害者のボランティア「音声訳」についてお話ししました。「音声訳」というのは、視覚障害者に書物を読んであげる、また録音テープを作成することです。私たちの身近にこんなボランティア活動をしておられる方があることを知り、何か協力できる事があればと思いました。

〔社会への思いやりに対する1994～'95年度会長賞〕については、職業奉仕に係わる項目に「ボランティアを探す方法としてクラブ会員の職業名簿を地区職業奉仕委員長に提供する」などがあります。すでに、豊橋・名古屋北・名古屋西・名古屋名東・豊橋ゴールデンの各ロータリー・クラブより名簿その他をお送りいただいています。他のクラブの職業奉仕委員会もどうぞ名簿その他をお送り下さい。

研修会後の感想として、このような会合に委員長・副委員長の他になるべく多くの会員にご出席願ひ、ロータリーという組織の中の職業奉仕を考えるのは当然であるが、視野を広く多岐にわたる勉強を、もっと時間をかけて、時間無制限でやってみたらと考えました。



『米山梅吉記念館』に研修旅行

地区米山記念奨学会委員会

委員長 米田 春雄

第2760地区は、今年もまた6名もの博士号取得者を輩出することになった。

米山奨学生制度の父・米山翁とはどんな方なのだろうか？一奨学生の声に、米山梅吉記念館への表敬・修学旅行の話が持ち上がった。奨学生たちの日ごろの熱誠に心動かされていた蜂谷ガバナーから即座に、「費用は心配しなくてよい」の有難い一言。計画はたちまち盛り上がり、地区米山の歴史に残る初の行事が平成7年3月18日に実現することになった。

富士の見える町、静岡県長泉町に梅吉翁の御墓所と、ささやかなその記念館とがある。米山記念奨学会の資金は規定上直接の奨学事業専用で、その他の用途に支出できない。ここは昭和44年開館以来、地元や地区内外クラブが浄財を持ち寄って、その整備・運営を進めてきたと聞く。長泉RCには、事前準備に大変お世話になった。

バス車中の時間を有効にプログラムしようということで、往路は、梅吉翁の生涯を描いたビデオでの予習となった。これは大変によくできていて、誰でも米山記念奨学会本部から借り出すことができる。随所にポール・ハリスの生涯との対比のある構成であった。生まれた年代も、早く親を亡くしたことも、苦勞して育った様子も、くしくもあまりに似ていた。彼自身のアメリカでの8年間の苦学の体験が、後年、わが国へのアジア留学生への熱い思いの源になっていることがわかる。

一行40余名が入ると記念館内の展示場は大変なにぎわいとなる。梅吉翁ゆかりの品々にビデオの一こま一こまが思い出され、感慨しきりであった。当館の坂本豊美理事長は、同行の奥谷P.G.と同期のP.G.とあって、この日静岡市からかけつけて歓迎のご挨拶を頂いた。蜂谷ガバナーから託された、地区としての大きな金一封が捧げられ、この日のハイライトの一つとなった。続いて約300メートル離れた米山家墓地に詣でる。翁の墓石に

は戒名はなく、「いさかいもなき漫々の青田かな」の直筆の晩年の句が刻まれていた。幼時この地に切実であった悲しい水争いを超えて、祈りと感謝の辞世の意味するところを、奨学生たちはどう受け止めたであろうか。

留学生は、妻子を連れての参加者も少なくなかった。国境も肌色の違いもなく、子どもたちはすぐ「友達」になって、手をつなぎ、はしゃぎながら帰路についた。帰りのバスでは、マイクを回してのお国自慢や故郷の歌に、奨学生たちの素顔にまた感動したことであった。ロータリーの歌を覚えたい、ということで、「奉仕の理想」を皆で何回も歌った。み国に捧げん、の「み国」とは、ただひとつの地球であることを、皆、感じとっていた。

夕窗の窓外の明かりがすすすがしかかった。梅の咲く季節のこと、時間があれば庭のお掃除も、梅の木に記念植樹もしなかったのに、などと語り合いながらの、あっという間の一日であった。



RYLAセミナー

東知多ロータリークラブ
会長 長坂千賀

会員60名足らずの当クラブが、ライラセミナーの担当クラブとして、その重責を果たすことが出来るかどうか、不安と責任を感じての1994～'95年度のスタートとなりました。

新年度発足後、直ちにライラセミナー実行委員会を結成し、山田 喬実行委員長の指揮のもとに、そして岡戸麻一地区ライラ委員長の御指導を仰ぎながら、具体的な活動に入りました。まず、2760地区各クラブへの第3回ライラセミナー開催の御案内を申し上げ、セミナーへの参加をお願い致しました。

セミナー当日は、幸い好天に恵まれ、これといった事故もなく、無事に2日間のセミナーを終えることが出来ました。参加者数は特別出席者16名、2760地区各クラブ会員78名、受講生男50名、女56名の計200名の方々の参加がありました。

各分科会は一つのテーマをA・Bの2グループ、従って5テーマ、10分科会にて行いました。

第1分科会は、豊かな国日本のなかの福祉、第2分科会は、あなたはなぜ大学へ行くのか、第3分科会は、中部国際空港と私、第4分科会は、飢餓で死んでゆく子供たちと私、第5分科会は、いじめと私、をテーマに設定しました。



各分科会共、活発な討論をされておりましたが、第3分科会の「中部国際空港と私」については、空港計画地域とはあまり関係のない遠隔地の受講生にとっては、問題が大き過ぎる、また身近な出来事と考えにくい、と言いましょうか、傍聴していてもそんな感じが致しました。

参加受講生各位に、今回のライラセミナーに対してのアンケートをとりましたので、その集計結果を参考までに掲載させていただきます。

アンケート集計表

第3回RYLAセミナー アンケート

- ① 今回のセミナーには誰に勧められて参加されましたか
友人(3) 自分自身で(0) ロータリークラブ(60) その他(43)
- ② 今までにRYLAについて聞いた事がありましたか
はい (21)(ロータリアン(17)先生(1)会社上司(1)知人(2))
いいえ(85)
- ③ 今回参加されてどのように感じられましたか
よかった(99) 期待はずれだった(3) 無回答(4)
- ④ あなたは発言する機会がありましたか
発言した(97) 発言しなかった(9)
- ⑤ セミナーのプログラムはどうでしたか
充実していた(34) まあまあ良かった(63)
まとまりがなかった(4) 無回答(5)
- ⑥ セミナーの下記の点について
開催期間=長い(2) 適当(97) 短い(7)
参加人数=多すぎる(5) 適当(98) もう少し多くても良い(3)
グループの人数=多すぎる(5) 適当(95) もう少し多くても良い(6)
- ⑦ 将来、地域での指導者になるあなたは、セミナーから何かを得られましたか
強く感じとれた(25) 少し感じた(72) それ程感じられなかった(9)
- ⑧ ロータリークラブが提唱しているローターアクトクラブ(18～30歳の青年男女を対象とする奉仕団体)を知っていましたか
知っていた(20) 聞いたことがあった(9) 知らなかった(77)
- ⑨ 今回のセミナーで得られた何かをローターアクトクラブで発揮して頂きたいのですが、あなたはローターアクトクラブに参加される考えをお持ちになりましたか
はい(22) いいえ(64) 無回答(20)



会長エレクト研修セミナー

次期地区幹事 神野 紀郎

1995～'96 R.I.会長テーマ

真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身。

平成7年3月21日(火)、10時30分より豊橋グランドホテルに於いて、会長エレクト研修セミナーが開催された。最初に蜂谷ガバナーより「この会長エレクト研修セミナーによって、ガバナーノミニーと会長エレクトの友情を築いていただいて来年度1年間をしっかりと運営していただきたい。」と石川ガバナー年度への期待を込めた激励の挨拶があった。続いて石川ガバナーノミニーの新しい年度に向けての所信が発表された。



まず、R.I.会長の新年度の方針について説明があり、「今年度のテーマ『真心の行動、慈愛の奉仕、平和に挺身』を支持する方法として、会員増強、ポリオ・プラスが強調された」と語り、次に石川ガバナーノミニーの考え方について、「簡素な運営をし、経費削減にも配慮した上で、各クラブがクラブ毎の事情に合った特色ある計画をしていただきたい。」と語られた。昼食と懇談会の後、カバナーノミニースタッフより運営上の報告・説明が行われ、高沢 隆次期地区研



修リーダーからの「会長のリーダーシップについて」と題して会長エレクトへの助言と、1月に南米カラスで開催された規定審議会の報告が行われた。

最後に蜂谷ガバナーより1995～'96年度松本 宏ガバナーノミニーの紹介があり、「ロータリーの本当の命は各クラブにあり、各クラブの真心のこもった運営を祈る」旨のご講評をいただき14時30分無事閉会した。全出席者の皆様のご協力に心よりお礼を申し上げます。

文庫通信 第92号

半年間に登録された資料の中から

- ◎「国際ロータリー第275地区 ローターアクト運営審議会最終提案表」
1986年 D-275 45頁 [申込先 ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「地区ロータリー財団セミナーの手引 1994～'95年度」 1993年 R. I. 148頁
[申込先 ロータリー文庫(コピー)]
- ◎「災害救援のための指針」 1994年 R. I. 24頁 [申込先 日本支局 TEL(03)3355-5391]
- ◎「ロータリークイズ面白ゼミナール(続編)」 1994年 大東RC 108頁
[申込先 大東RC TEL(0720)75-1200]
- ◎「ロータリー余話」 1994 津田 進 106頁 [申込先 ロータリー文庫]
- ◎「わかりやすい職業宣言」 1994年 D-2770 20頁 [申込先 ロータリー文庫]
- ◎「顧みての微笑みを」 1994年 渡辺好政 83頁 [申込先 佐藤眼科医院 TEL(086)472-2039]
- ◎「1994～'95年度ロータリー情報研究会」 1995年 D-2690 97頁
[申込先 D-2690 TEL(086)265-2690]

—— ロータリー文庫 ——

〒105 東京都港区芝公園2-6-3 abc館 7階 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

R.I.D-2760に新クラブ誕生

「名古屋西南RC」創立総会

1995年3月9日(木)12時より名古屋クレストンホテルに於いて蜂谷弘道ガバナーをはじめ地区役員の皆様、並びにスポンサークラブの名古屋港ロータリークラブの皆様方150名の出席で創立総会が開催されました。

国際ロータリー第2760地区として73番目、名古屋第一分区で12番目のクラブとしてスポンサークラブの創立30周年を迎えるにあたり設立されました、チャーターメンバー41名のうち、地区でも数少ない女性会員4名が含まれた新クラブです。

今後とも各クラブ様及びロータリアンの方々には、ご指導、ご協力をお願い申し上げます。

なお設立総会終了後、新会員との立食懇親会が盛大に行われました。

■新クラブ概要

名 称：名古屋西南ロータリークラブ

例会日時：毎週木曜日 12時30分～13時30分

例 会 場：名古屋クレストンホテル

(名古屋パルコ9F)

事 務 局：〒460 名古屋市中区栄三丁目29番1号

名古屋クレストンホテル(1007号室)

TEL・FAX052(263)1324

役 員：特 別 代 表

綱島 彰

拡大準備委員長

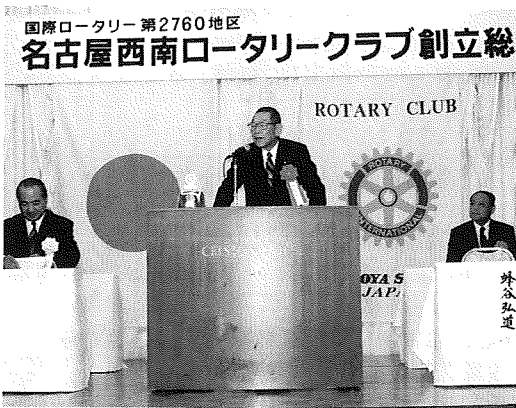
三木庸行

会 長

篠田顕明

幹 事

古川 進



阪神大震災義援金(追加)

ガバナー月信№10において、3月17日現在の「阪神大震災義援金」を掲載しましたが、今回はそれ以降のご協力分をご報告いたします。

総合計 50,978,904円(今回追加分含む)

- 名古屋駅RC 50,000円 D-2760一括
- 名古屋東南RC 800,000円 D-2760一括
- 豊山-城北RC 1,100,000円 豊山町義援金係

- 一宮RC 900,000円 D-2760一括
 - 岡崎東RC 119,000円 D-2760一括
- 追加分合計 2,969,000円

このほかに、Vancouver Arbutus RC (瀬戸北RC姉妹クラブ) からの500ドルをD-2760ガバナー事務所を通じてD-2680ガバナー事務所へお送りいたしました。

みなさまの温かいご支援に対して心から感謝申し上げます。

おめでとうございます 新ポール・ハリスフェロー

〈3月下旬分〉

鈴木 晴視(名古屋RC) 伊田 邦男(豊川宝飯RC)
早川 篤人(東海RC) 梶浦 尚江(名古屋南RC)
谷口 伸夫(尾張旭RC)

事務局移転のお知らせ

●名古屋東南ロータリークラブ

ホテル改装工事に伴ない下記のとおり事務局を移転しました。

(〒450)名古屋市中村区名駅一丁目2番4号
名古屋グランドホテル13階311号

T E L . (052) 583-0010 F A X . (052) 583-0009

●名古屋名南ロータリークラブ

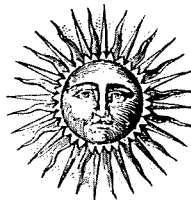
(〒450)名古屋市中村区名駅一丁目2番4号
名鉄グランドホテル13階314号室

T E L . (052) 586-2043 F A X . (052) 586-2054

ロータリー適用相場変更のお知らせ

国際ロータリー日本支局財務部

国際ロータリー世界本部より、本年5月1日からすべての振込に対する適用相場(ロータリーレート)を、1ドル84円に変更する連絡がありました。



パラオ共和国 ソーラーシステム 寄贈

最も理想的なエネルギー、ソーラーは輝ける新独立国の希望の灯です。

パラオへのソーラーシステム寄贈に際して友情あふれるご協力をいただきありがとうございます。

おかげさまで、5月10日現在、地区内からの基金総計は、11,433,500円に達しました。お礼かたがたご報告いたします。

MAKE-UPニコボックス

ご協力ありがとうございます。

ご協力頂きました金額は、5月10日現在、総額18,406,453円となっております。

計 報

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 4月4日 鈴木 豊(豊田東RC)
- 4月6日 小笠原明光(東知多RC・会長エレクト)
- 4月15日 志水 博夫(刈谷RC)
- 4月21日 鈴木熊太郎(西尾RC)
- 4月28日 墨 光雄(岡崎RC)

ATTENDANCE REPORT

R.I. 2760地区3月度 出席報告

分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	例 会 数	会 員 数			分 区	ク ラ ブ 名	出席率 (%)	例 会 数	会 員 数		
				1994年 7月1日	当 月	増 減					1994年 7月1日	当 月	増 減
尾張第一分区	知 多	100.00	4	48	52	+4	西尾張分区	あ ま	99.52	4	100	104	+4
	半 田	99.69	5	72	75	+3		尾 西	98.75	4	59	60	+1
	半 田	97.94	3	65	68	+3		一 宮	99.07	5	92	90	-2
	東 知	97.28	4	58	60	+2		一 宮	98.78	5	86	83	-3
	常 滑	98.88	4	67	67	0		稲 沢	98.11	5	66	64	-2
	東 海	96.72	5	66	67	+1		西 春	98.37	3	65	65	0
	計	98.42	—	376	389	+13		尾 張	100.00	5	49	47	-2
名古屋第一分区	名 古 屋	96.23	3	225	241	+16	東三河分区	津 中	99.51	5	93	91	-2
	名 古 屋	97.61	4	122	127	+5		一 宮	99.12	5	71	69	-2
	名 古 屋	100.00	5	126	132	+6		計	99.03	—	681	673	-8
	名 古 屋	100.00	5	98	102	+4		渥 美	93.56	5	66	64	-2
	名 古 屋	99.67	4	157	160	+3		蒲 郡	96.13	5	79	81	+2
	名 古 屋	97.33	5	148	155	+7		奥 三	92.50	4	41	39	-2
	名 古 屋	98.77	5	101	100	-1		新 河	92.86	4	64	63	-1
	名 古 屋	100.00	3	74	81	+7		田 城	96.41	5	75	73	-2
	名 古 屋	96.46	5	82	96	+14		豊 原	98.43	5	131	128	-3
	名 古 屋	98.22	5	82	85	+3		豊 橋	99.25	5	81	83	+2
	名 古 屋	98.70	4	73	77	+4		豊 橋	98.42	3	114	115	+1
	名 古 屋	93.90	4	0	41	+41		豊 橋	98.10	4	86	87	+1
	計	98.07	—	1288	1397	+109		豊 川	97.91	5	77	80	+3
名古屋第二分区	名 古 屋	99.02	3	68	70	+2	西三河第一分区	豊 川	97.44	3	68	68	0
	名 古 屋	97.40	4	112	116	+4		田原	97.47	3	66	67	+1
	名 古 屋	98.67	5	114	116	+2		計	96.54	—	948	948	0
	名 古 屋	100.00	5	79	77	-2		岡 崎	99.59	5	116	114	-2
	名 古 屋	99.47	3	68	63	-5		岡 崎	100.00	5	81	84	+3
	名 古 屋	97.56	5	84	86	+2		岡 崎	99.56	3	76	78	+2
	名 古 屋	97.44	4	73	70	-3		岡 崎	99.43	5	111	113	+2
	名 古 屋	100.00	5	106	115	+9		豊 田	98.39	5	93	96	+3
東尾張分区	計	98.70	—	704	713	+9	西三河第二分区	豊 田	98.03	5	94	94	0
	犬 山	100.00	3	77	80	+3		豊 田	99.25	4	103	105	+2
	岩 倉	96.75	3	46	44	-2		豊 田	99.13	4	30	29	-1
	春 井	100.00	5	82	84	+2		計	99.17	—	704	713	+9
	小 牧	97.22	5	72	72	0		安 城	97.78	5	92	94	+2
	江 南	99.43	5	74	75	+1		碧 南	99.50	5	83	84	+1
	名 古 屋	98.50	4	71	70	-1		一 色	100.00	5	56	54	-2
	尾 張	99.43	5	70	70	0		刈 谷	100.00	4	95	93	-2
	瀬 戸	100.00	5	81	82	+1		知 立	99.65	5	54	56	+2
	瀬 戸	98.44	3	67	68	+1		西 尾	100.00	3	81	80	-1
	豊 山	98.87	3	62	59	-3		西 尾	96.50	5	59	58	-1
	計	98.86	—	702	704	+2		高 浜	100.00	3	47	52	+5
	計	99.18	—	567	571	+4		計	99.18	—	567	571	+4

地区内クラブ数73R.C. '94.7.1会員数……5970名 増加会員数……+187名
 当月末会員数……6108名 減少会員数……-49名
 当月平均出席率……98.50% 差引純増会員数……+138名

「ポール・ハリス自伝」に思う

1994～'95年度国際ロータリー第2760地区

ガバナー 蜂谷 弘道

.....

常に、ポールが育てた「ロータリーの原点」を思い起こそう。

【輝ける未来へ】

20世紀に生きる私共は、職業人として来る21世紀にも洋々と人類に貢献し続けるであろうロータリー哲学の下に生きているのです。

ロータリーの哲学は、「親睦・奉仕・拡大増強」です。ロータリーの手続要覧が変わろうと、奉仕に対する傾向が変わろうと、哲学の本質は絶対変わってはならないものです。「I serve」の本質が「We serve」の陰に隠れ、ともすると目立たなくなってしまった今日、バブル経済の下で社会は乱れました。ロータリーも本来の姿が見落とされがちです。今一度、「誠実・質素・寛容・無私」というポールが育てた環境を思い起こすことが大事であると思います。

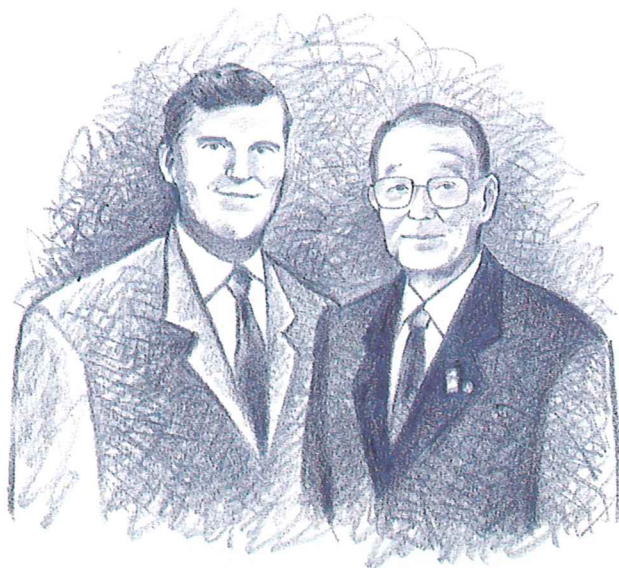
この平成の不況にあって、「他人の苦しみは我が苦しみ、の心で助け合おうではありませんか。ロータリーは個々のクラブの活動により生きているものです。

私は本年度の指針として、各会長さん方のされることがロータリーの本質に合致していれば、例のクラブ細則等の規約に多少それていてもご注意を申し上げることは

1905



1995



致しませんでした。ありがたいことにロータリーの役の任期は単年度です。もし私たちの行動が例え一歩はみ出していたとしても、次年度のガバナー、会長の方々が良くない方向に伸びた芽を摘み、立派な盆栽にして下さるでしょう。また、正しい種子であれば、ますます力づけて伸ばして下さると確信しているのです。

一度しかない人生の、一度しかないロータリーの会長であります。いまだ任期中ではありますが、皆様には果敢にリーダーシップを発揮していただき、深く思索し、親睦、奉仕、拡大増強の「実」をあげていただきましたことを心から感謝致します。

<終り>